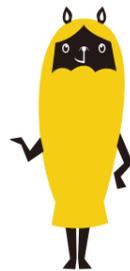


## 地域を創造するトータルコア企業

わたしたちは、地域における「産業」「生活」「環境」「文化」をはじめとする様々な分野の成長に情熱を傾け、新しい価値の誕生を支援してきました。

これからも、地域の豊かな未来を目指し、皆さまの身近でお役に立てる、総合力を持った「地域を創造するトータルコア企業」として、歩み続けていきます。



### 企業理念の3つの柱

#### 活動領域

地域と調和し、豊かな未来を築くために、全力をつくします。  
地域に密着した金融機関として、皆さまとの対話を大切にしながら、豊かで活力ある未来をともに考え、その実現に全力をつくします。

#### 将来ポジション

地域との連帯を強め、ベストパートナーを目指します。  
皆さまとより強い連帯感を育みながら、温もりを感じあえる地域コミュニティの充実に取り組み、地域のベストパートナーとなることを目指します。

#### イメージ目標

地域の信頼に応えることのできるリーダーを目指します。  
よりよい地域づくりを通して皆さまとの信頼関係を深め、地域にとって頼りになる“リーダー的存在”として認識していただくことを目指します。

わたしたちの誓い

- ①わたしたちは、チャレンジ精神を忘れずに、常に目標に向かって躍進します。
- ②わたしたちは、対話を大切に、地域の声を聞き、情報の有効活用に取り組みます。
- ③わたしたちは、自分の仕事に誇りと責任を持ち、企業の戦略に参画します。

### 主要な事業の内容

#### ①預金業務

当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金、譲渡性預金等を取り扱っております。

#### ②貸出業務

- ①貸付 手形貸付、証書貸付および当座貸越を取り扱っております。
- ②手形の割引 銀行引受手形、商業手形および為替手形等の割引を取り扱っております。

#### ③有価証券投資業務

預金の支払準備および資金運用のため、国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。

#### ④内国為替業務

送金為替、当座振込および代金取立等を取り扱っております。

#### ⑤附帯業務

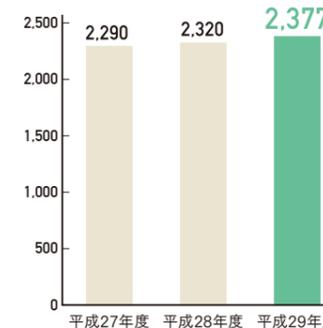
- ①代理業務
  - ①信金中央金庫
  - ②日本銀行蔵入代理店
  - ③地方公共団体の公金取扱業務
  - ④株式会社日本政策金融公庫
  - ⑤独立行政法人住宅金融支援機構等の代理店業務
- ②貸金庫業務
- ③債務の保証
- ④国債等公共債および投資信託の窓口販売
- ⑤保険商品の窓口販売  
(保険業法第275条第1項により行う保険募集)
- ⑥スポーツ振興くじの払戻業務
- ⑦電子債権記録業に係る業務

#### ⑥その他法律により信用金庫が営むことができる業務

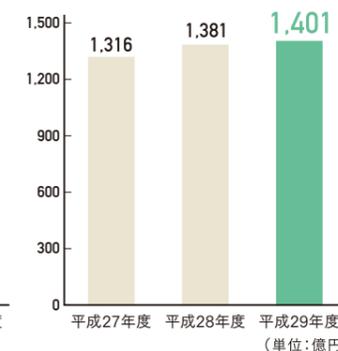
### 預金・貸出金

業績面につきましては、預金において期末残高2,377億円(前年比増加額57億35百万円、増加率2.47%)、期中平均残高2,382億円(前年比増加額66億96百万円、増加率2.89%)と順調に推移しました。貸出金においても、期末残高1,401億円(前年比増加額20億11百万円、増加率1.45%)、期中平均残高1,377億円(前年比増加額58億92百万円、増加率4.46%)と、期末残高・期中平均残高ともに増加となりました。

●預金積金(残高)



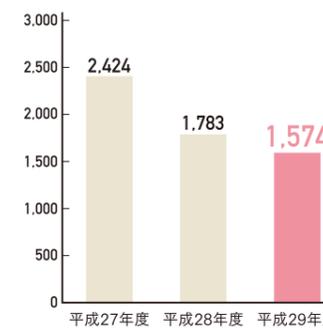
●貸出金(残高)



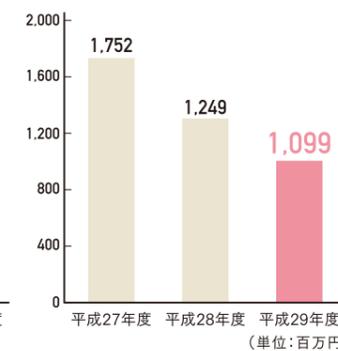
### 利益

収益面につきましては、経常利益15億74百万円(前年比減少額2億9百万円、減少率11.73%)、当期純利益10億99百万円(前年比減少額1億49百万円、減少率11.95%)を計上し、減収となりましたが十分な利益を確保する事ができました。

●経常利益



●当期純利益



### 自己資本比率

自己資本比率は、経営の安定性を示す最も重要な指標と言われ、国内基準では、4%以上を保つよう義務づけられています。当金庫は、前年度17.06%、今年度において16.74%と基準を大幅に上回っており、高い健全性を維持しております。

自己資本比率 = 16.74%  
自己資本額 = 258億10百万円

当金庫は、自己資本額の充実を経営方針に掲げ、収益の強化を図るため、資産の分散化でリスクゼロ資産から少しリスクのある資産での運用も増加させた結果、自己資本額が10億92百万円増加し自己資本比率が前年度より0.32%減少しました。今後とも経営の健全性を維持していくため収益力の強化に努め、自己資本の充実を図ってまいります。

●自己資本比率

